

あしす

ふわりく

Vol.2

巻頭言 東海地区NC準備委員 新井智也

先日、姉と話している時のことである。

姉「NCって何の略だったっけ？」唐突に訊かれた。

私「？、National Conferenceの略だよ」

姉「あ、やっぱりそうだよ。いや～人に訊かれたんだけど自信なくてさ～（笑）」

私「…………。（この人2年前にNCに参加してたはずなんだけどなあ）」

姉「それで今回はどんなテーマなの？」

私「ん～と、『NotIce～他人から隣人へ～』がテーマなんだけど、世の中や周りの人の苦しみや悲しみに対して無関心な自分がいることと知っていても他人様の様になっている自分がいることに“Notice（ノーティス）=気付く”って意味と“Not Ice（ノットアイス）=冷たい心でない状態”って意味があって、他人から隣人になっていく事を目指して“Notice”する“Not Ice”になるのがテーマかな」

姉「へ～“NotIce”かぁ、上手いねえ（笑）とてもナイスで良いと思うよ」

テーマを説明しながら私は自分の言ったことを問い直してみる。

“無関心な自分とはどういうものだろう？”

世界の情勢や社会問題、政治・経済などのニュースを見ても「大変だなあ」の一言でどこか自分とは遠い世界の出来事のように思えたり、考えるのが面倒臭く結局自分にとっては“どうでも良い事”のように思ってしまうのではないだろうか？そのような状態に私達は慣れてしまい、たとえ自分の身近な所で苦しみ悲しんでいる人がいても「どうせ自分には関係ない」「我関せず」と自分の中で決めて、あるいは諦めてしまっているのではないだろうか？

興味がないから関わらない、よく知らないから関わらない、面倒だから関わらないのではなく相手の人格を通して交わり、関わりたいと願う意思が必要なのだ。

NotIceとは何か“特別な事”ではなく、自分の罪深さに気づき、悔い改め、主であるイエス・キリストが命をかけて愛を示されたように自分も神を信頼し愛を示していく、キリスト者としての原点に立ち返ることではないだろうか？

あなたはNotIceしてる？

NC2006テーマ

Notice～他人から隣人へ～

喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。ローマ12：15

1 なにを喜び、なにに泣くのか。

先日、映画『いま、会いにゆきます』を観ました。感動したのですが、何かしらの違和感が残りました。それは、世の中がこれだけ閉塞状態の中にあるのに、この映画にあふれる爽やかさは何だ？という違和感のように思えました。9月27日の朝日新聞夕刊に次のような分析が載っているのを見て、私の違和感が言葉化されたように思いました。その記事は次のように述べています。『最近のベストセラーの売方を分析すると、「誰もが、涙と感動に飢えている」。それは、「世の中が人情味あふれ、ぬくもりに満ちたもの」だからではなく、逆に、「誰もがイラつき、不安を抱えた時代だからこそ、そこに欠けているものを、あられもないほどに求める」のだ。その上で、「400万を越すフリーターと80万ともいわれるニートの存在、そして年間3万人を数える自殺者」を、「何よりも現代日本の“苦しみ”として捉え受け止める精神が、

キリスト者としての人生の中で

一生涯問われ続けてゆくもの

いま求められている』とその記事は問いかけていました。

それでは、私たちキリスト者学生会は全国集会の主題聖句として掲げたローマ12：15から一体、何を学びとろうとしているのでしょうか。

2 ローマ12：15の全体的な位置

ローマ12：15が何を私たちに語っているかを聞き取るためには、まずローマ書全体の中でこの節がどのような位置にあるかを確認しなければなりません。

全体を通読してゆく時に気付くことは、ローマ書は1：1から11：36までの部分と12：1以下の部分に大別できることです。それは、12：1の冒頭に「そういうわけですから」とあることから分かることです。

つまり、パウロは、前半において、信仰義認、聖化、選び、といった信仰の根幹（教理）について注意深く教えました。それを受けて「そういうわけですから」あなたがたキリスト者は、以下のような生き方をすると、12：1以下では信仰の生活における具体的実践面を教えているのです。

3 キリスト者としてのモデル

その信仰の生活における具体化を支える土台は「神のあわれみ」（12：1）です。信仰の実践は人の努力によるのではなく、「神のあわれみ」がその動因であり、動機なのです。主のあわれみが私たちの背中を押し、



GKJ総主事

Takashi Onuma

趣味：釣り

やさしく、時には塩味をきかせながら学生をあたたくサポートして下さるジョークセンス抜群の主事です。家族は美しい奥様と2人のお子さんです。

足を運ばしむるということです。その上で、キリスト者はその人生を「霊的な礼拝」として捧げなさい、「この世と調子を合わせ」るのではなく、「神のみこころは何か」を知るために、「自分を変えなさい。」（12：1-2）と聖書は命じているのです。

そして、12：3以下では、キリスト者として目指すべき品性・人格のモデルが呈示されています。12：3-13は主に、教会の中における人間関係において取るべき態度が語られていますが、14節からは教会の枠を越えて、「迫害する者」も含む、教会外の人々との関係にまで、それは及んでいます。その文脈の中で、12：15が現れてくるわけです。

4 喜び、悲しみを共にすること

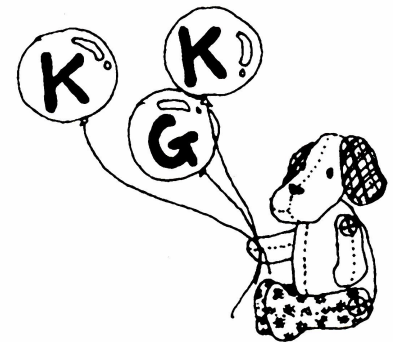
それでは、私たちにとって「喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。」とは、どういうことなのでしょう。この問いは、私たちそれぞれが、そのキリスト者としての人生の中で一生涯問われ続けてゆくものであって、一人一人が、「神がおのおのに分け与えてくださった信仰の量り」（12：3）と、「与えられた恵みに従って」（12：6）、答えてゆくべきものではないかと思うのです。だから、私はここでは、私が考えさせられていることの一つを例示するだけにとどめて、この節の意味は、NCに参加するお一人一人に考えていただきたいと思います。

KGKのホームページで以前書いたことですが、私はこの3年間、教会のCSの時間、一人の子供の世話を担当しています。その子との関わりを通して、私は様々な事を考えさせられてきました。その子は言葉では殆どコミュニケーションがとれません。突然、叫ぶ。動き回る。私の注意を引くために、私のほおをたたく。足でけつとばす。外から何か強制されると、爪でこちらの手から血がにじむ程の力でひっかく。たった一時間、一緒にいるだけなのに、ぐったりする程消耗します。

基本的には、その子に対する同情があるのだとは思いますが、ひっかかれたりすると、私の側でも怒りがあふれることがあります。この子は一生このまま、大きくなってゆくのだろうか。この子の人生って一体何なのだろうと、心の中に苦い思いが湧き上がってきます。「だが、しかし」、と私は思のです。神様の目に、この子と私はどんな風に映っているのだろうか、と。

終わりのラッパの鳴り渡る日、「死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられる」（Iコリント15：52）と聖書は教えています。とするなら、この子の人生は、ハンディキャップを持ったこの地上の人生だけで終わるものではないのではないだろうか。やがて御国で、この子も私も新しい体が与えられる。御国のどこかで、再会するかもしれない。その時、私が地上でこの子と過ごした時に抱いた思いを、私はきっと恥ずかしく思うのではないのでしょうか。もしかしたら、金持ちとラザロの例え（ルカ16：19-31）に語られているように、この地上では何も良いものを受けなかったラザロが、アブラハムのふところに抱かれているのに、私はあの金持ちのように、はるか離れた所にいるということにならないだろうか。同じIコリント15：41では「個々の星によって栄光が違います。」と述べられています。この子にも、私とは異なる栄光が与えられているのに、私の目にはそれが見えないのではないだろうか、と。

それゆえに、「喜ぶ者といっしょに」「泣く者といっしょに」ということが、私の人生にとって、どういうことなのか、問い続けてゆかなければならないと思うのです。



Program



Opening

各地から集まったみんなと出会うみい！
初めて会う人たちばかりで、ちょっと緊張してしまいそうだみい。でも、みんな同じ仲間だからきっと大丈夫。レクリエーションもあるみいだみい。
それに400人で捧げる賛美はすごいっみい！！
5日間たくさんの人と友だちになるみい！



1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	起床・洗面			
	朝食			
	Devotion			出発
	聖書研究	静思の時	聖書研究	
	聖書講解			
	昼食			
	D.P.M.			
受付	地区紹介	Free Time		
	夕食・お風呂			
Opening	主題講演		Special Night	
	Group Time			
	就寝準備・消灯			



聖書研究

グループメンバーと一緒に、神様のことばにじっくり耳を傾けて、お互い自由に思ったことや考えたことを分かち合うみい。
意見がぶつかり合うこともあるかもしれないけど、正直に話すことで、神さまがみことばを通して語ってくれるみい！



Group Time

メッセージやいろんなプログラム、そして、なにげない時を通して神さまが自分になにを語ってくれたのか自由になんたと分かち合うみい。
みんなで話すと新しい発見もあるかも。

Devotion

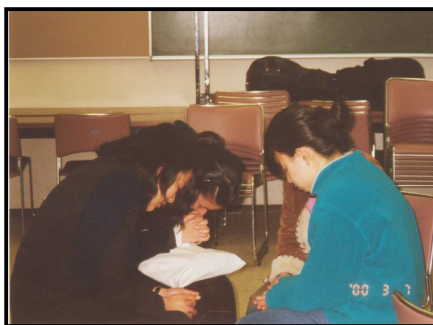
神様と一対一でゆっくりと交わりを持つみい。神様が聖書を通して語ってくださるみい。聖書を読んで一日を始めると神様がいつも一緒にいてくれるのがわかるみい。



D.P.M.

(Daily Prayers Meeting)

KGKの原点であり大切にしてきた、祈りのとき。互いの地区のため、海外宣教のため、様々な社会問題のために、こころをひとつにして祈るみい。日本・海外・社会の痛みにNotice。



Free Time

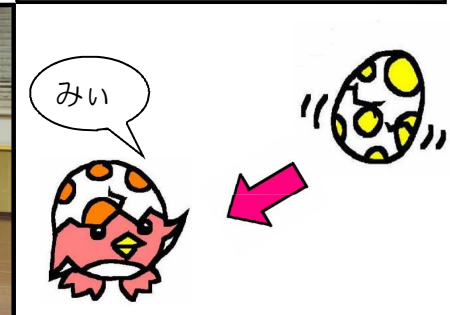
会場には体育館、近くには牧場・アスレチックもあるみい。友だちとお話しても、休んでも、遊んでもいいみい。ウォーミーのことは蹴らないでね。

オプションプログラムやブックレット販売もあるみい。なにをしようか迷うみい。



地区紹介

地区ごとに、自分の地区をアピールするみい。地元を愛するオーラがみんなから出てるみい。みんなおもしろい人ばかりだみい。ウォーミーも一緒にやりたいみいー。



静思の時

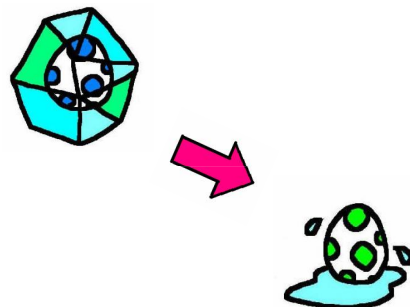
NCの中間地点で一人で静まって、これまであったこと、過去・現在・未来を自由に思い巡らすみい。

この時は友だちとお話したり、遊んだりはしないで、神さまと2人っきりになるみい。



Special Night

最後の夜・・・。
内容は・・・お楽しみい。



Guest from abroad **-Korean-**

「韓国」から連想する言葉を10個挙げてください！と言われたら、どうでしょうか？キムチ、ピビンバ、冬ソナ、チマ・チョゴリ、サランハヨ・・・。

最近「韓流」という言葉がテレビや雑誌で頻繁に取り上げられており、多くの日本人にとって、以前にも増して韓国という国が身近に感じられているのではないかと思います。さて、今回のNCに韓国IVFの学生も参加することはすでに知っていることと思いますが、皆さんは韓国という国をどれほど知っているでしょうか？今回は韓国の簡単な紹介と、韓国IVFの学生を招くことになった経緯を見ていきたいと思います。

韓国の国土面積は日本の約4分の1、人口は約3分の1。日本との間に時差はなく、また、何より日本から一番近い国であることから、日本からの旅行者を見ると昨年は実に約240万人。日韓の交流は様々な分野で広がり続けているといえます。さて、クリスチャン人口比率はといえば、日本の数十倍とも言われ、教会堂は至る所にあります。日本では想像できないことですが、辺りを見回すと10以上の教会が見つかる場所も在るほど。日曜日には聖書と賛美歌を持って教会に行く姿を通りてたくさん見ることができます。

では、なぜこの韓国からIVF学生をO6NCに呼ぶことになったのでしょうか。その直接的なきっかけは、O3NCでの韓国IVF学生の証に遡ります。彼はNCの感想として「日本人はみんな優しいけれども、（戦争責任などについて）何も知らない」と訴えました。当時、全協（全国協議委員会）ではKGKのミッションを確認しようという作業に取り組んでいました。何を活動の中心として、活動を通して何を目指すことが神様の御心であるのか・・・そのことを、ハッキリさせることによって、ミッションを確認しようとしていたのです。しかし、そのことが分からない状態にありました。そこで「自己点検」という作業に取り組み、KGKの活動を丁寧に見直していたのです。その中で、93EARC（キューサンアーク）の戦争責任の

謝罪や97NCでの「朝の集い」問題、O3NCでの戦争責任に関する特別講演・・・と神様が私たちを導いてくださっていることを確認し、全生活を通して証する上で「アジアにある痛みを知り、応答する」という大事なキリスト者としての責任に気づかされていったのです。そのような中でこの韓国IVFの学生の証を、全協では重く受け止め、韓国の人々の「痛み」にNoticeしていなかったことを悔い改め、韓国について学び、昨年度別冊J's韓国編を発行しました。

私たちは、クリスチャンとして、全生活を通して証したいと願っています。しかし、「知ろうとしない心」、つまり「無関心」＝「iceな心」がそれを妨げます。今回のNCに韓国IVFの学生を招待することによって、参加者全員が一番近い身近な国、韓国について「Notice」し、「Not Ice」な心に変えられていくことを信じています。

（東北地区・本田光太郎）



韓国基礎知識

2005年9月現在

人口	約4,819万人（2004年7月現在）
人種	韓民族
言語	韓国語
宗教	仏教27%、キリスト教24%、その他儒教、天道教

外務省HPより

Guest from abroad *-Malaysian-*

「海外ゲストでアジアの中からマレーシアと韓国を呼ぶことになった。」と言うと、こんな反応が返ってくることが多い。「韓国は分かるけど、なんでマレーシアなの？」なぜ、OGNCで海外ゲストとしてマレーシアを呼ぶのか。その答えはこの反応の中にもあると私は思っている。

私たちにとってマレーシアは遠い。私たちはマレーシアで、戦争中にそして今、どんなことが起きているのかを意識することはあまりない。そして彼らが何を痛みとしているのかについて意識することもあまりない。私たちの内で実感を伴って問題視されるのは、私たちが知っていること、近いことに限られているのではない。

2005年3月、私はオーストラリアでホームステイをしていた。家は父親がインドネシア人、母親がマレーシア人で子供が4人いるクリスチャンの家族だった。私は彼らとの交わりを通して他の多くのアジア人に出会った。その中で、私は同じアジア人として彼らに親近感を持つと同時に、仲間に自分が加えられていると感じ、平安の中で日々を過ごしていた。しかし、ある日の夕食後の会話で何の拍子か、戦争の話になった。そして、11歳の子供が、私がおの日本人であることを忘れていたかのように、第二次世界大戦中、日本軍がマレーシアの地で彼らの祖母たちにした仕打ちについてしゃべり出したのだ。そしてそれを隣で聞いていた母親もついて話し出した。日本軍が空に赤ん坊を放り投げて次々に銃剣で串刺しにした・・・日本軍の行為に反対する若者は樽に入れられて川に流された・・・それを陰から見ていた彼らの祖母は酷く日本軍を恨んでいる・・・日本人である私に対して、怒った様子でも恨んだ様子でもなく流れてくるそれらの事実を前に、私は当時の日本軍に対する憤りを覚え、また“戦争を繰り返そう”とするような今の日本の力に対して苦しさを覚えて、思わず、”I hate Japanese army, I hate Japanese government.”と口にしていた。すると、今まで黙って聞いていた父親が静かに私を近くで呼んで、その言葉を諫めた。私は日本軍や日本の政府に反対すれば彼らは喜んでくれるだろうと思っていたので、正直驚いてしまった。父親は話の最後に「もう二度と戦争をしてはいけない。」と言い、「私たちはキリストのからだ、一つのからだなのだ」と言った。

ここには私の個人的経験について書かせてもらったが、何より直接マレーシアの人々と出会ったこと、マレーシアのクリスチャンを知ったこと、その痛みに触れたこと、しかし彼らが日本とも同じ主にあって一つになろうとしているということは、私に大きな衝撃を与えた。そしてそれから私にとって、彼らは、マレーシアは、もはや地図上の一国ではなくなった。

2006年3月、私たちはNCに海外ゲストとしてマレーシアFESのクリスチャン学生を招こうとしている。KGKと同じ信仰に立つ彼らと、しかし同時に過去において私たちが痛みを与えてきた彼らと、喜びを共にし、苦しみを共にすることは出来るのだろうか。それは、私たちがアジアにおいて共に生かされているキリスト者であり、同じ召しを主によって与えられている兄弟姉妹であることを知るときに、はじめて、その出会いが恵みであり喜びであるのだということに気付くものなのかも知れない。

『喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。』ローマ12：15

(関東地区・水口恵子)



マレーシア基礎知識

2005年3月現在

人口	2,558万人 (2004年統計局)
人種	マレー系 (65.5%)、中国系 (約25.6%)、インド系 (約7.5%)、その他 (1.3%)
言語	マレー語 (国語)、中国語、タミール語、英語
宗教	イスラム教 (連邦の宗教)、仏教、儒教、ヒンドゥー教、キリスト教、原住民信仰

外務省HPより

全国 K GK クイズ

みなさん、こんにちは～さてさて全国K GKのことどれくらいNotlceしてるでしょうか？9地区の「これだけは知っておくべき！」ものから、「分かる人には分かる地元ネタ・・・」クイズを集めてみました！これであなたも全国K GKエキスパート(?)になれる??以下の質問に答えて、あなたの全国Notlceレベルをチェック☆ 他地区のこと、自分の地区のこと、意外なNotlceがきつとあるはず☆☆

1.北海道地区は5ブロックで活動しています。札幌、旭川、北見、函館、あと1つはどこ？

2.北海道地区全体で集まれるのはほとんど夏期学校、春期学校、聖研合宿の3つの合宿に限られています。さて聖研合宿はいつ行われるのでしょうか。

3.夏期、春期学校で行われるお楽しみプログラムK GK杯。優勝グループに与えられる栄誉はどう表される？

北海道

4.東北6県の他に東北地区K GKに含まれる県は何県だす～??

5.山形ブロックで毎年11月くらいに、必ず行なわれるイベントとは何だす～??

6.これを訳せれば恐いものなし！
「あしたなつとば聖研さへでぐはんで！」(津軽弁)

東北

7.関東地区の東京御茶ノ水の事務所はOCCビルの3階にありますが、OCCを略さずに言うと？
①御茶ノ水クリスチャンキャンパス
②御茶ノ水クリスチャンセンター
③おいしいのはC&C

8.関東地区にはいくつのブロックがあるでしょうか？
①9 ②14 ③21

9.関東地区の事務所は概して携帯の電波の入りが良くありません。しかし、特定の場所では良好だと関東地区の一部の学生は主張しています。では、彼らが言う電波の入りが良い地帯とはいったいどこでしょうか？
①第一会議室の十字架の付近
②学生用のパソコンのテンキー付近
③主事の付近

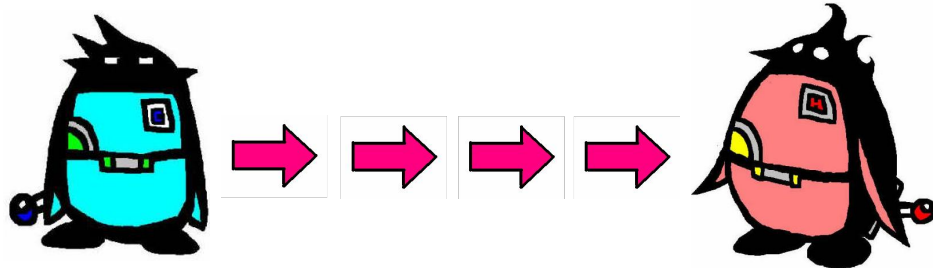
関東

10.北陸地区の機関紙の名前は？
①たびびと ②となりびと ③たにん

11.第1回北陸地区夏期学校が開かれたのは何年？
①1976年 ②1992年 ③2002年

12.北陸地区夏期学校の参加者人数がもっとも少なかった時の参加者人数は？
①4人 ②8人 ③11人

北陸



1 3.毎週月曜に行われる定例会の名前は何でしょう？

- ①大須祈祷会 ②中須祈祷会 ③小須祈祷会

1 4.東海地区の機関紙の名前は何でしょう？

- ①ミラクル ②ミラージュ ③きらめき

1 5.東海地区の服部主事が趣味で育てている動物は何でしょう？

- ①ダックスフンド ②クワガタ ③ハムスター

東海

2 2.九州地区の機関誌「3×3」は何と読むでしょう？

2 3.九州地区は9ブロックあります。

鹿児島・宮崎・熊本・大分・長崎・福岡・北九州
あと2つはどこでしょう？

2 4.九州の事務所は何県にあるでしょう？

九州

2 5.沖縄地区は1つの県から成り立っています。

そこでっ！沖縄には8つの大学（短大・4年制大）がありますが、そのうちいくつの大学で聖研をしているでしょう？

- ①8 ②6 ③3

2 6.今年の沖縄地区夏期学校は第2回目でした。

地区になる前から夏期学校をおこなっていますが、代々準備委員は青年の家などの施設を借りてのプログラムとは別に〇〇が来るのを想定して、〇〇対策プログラムを考えています。

さて、〇〇に入る言葉は何でしょう？

2 7.山入端、安谷屋、玉那覇、真栄喜、嘉数 . . .

他県から来た人にとって馴染みのない名字が沖縄には多いです。それぞれ何と読むでしょう？

ちなみに、上に挙げた名字はKGKの学生・卒業生です。

沖縄

1 6.現在、関西地区にはGA（Graduate Assistant/非常勤スタッフ）が何人いるでしょう？

1 7.今年の関西地区のテーマは

「ジコショウカイ〜めっちゃええねん！！わたしの神様〜」
です。ジコショウカイを漢字に直すと？

- ①自己笑快 ②自己証会 ③ジーク紹介

1 8.関西地区の事務所は、通称何と呼ばれているでしょう？

関西

1 9.中四国地区にはいくつの県があるでしょう？

2 0.元中四国主事、

吉澤恵一郎宣教師の愛車は何だったでしょう？

- ①スカイライン ②フェラーリ ③ノア

2 1.中四国地区で「ありがとう」をなんと言うでしょう？

中四国

<ボーナス問題> . . . 正解したら3ポイントゲット☆

☆☆☆今回のNCのホスト地区（準備地区）を4つあげなさい！

0~10点 →NCにいてブレイクしよう、あなたの知らない世界がもっとあるはず！

11~20点 →グローバルでローカルな全国Noticeまであと一歩！

21~29点 →ここまでいけばかなりツワモノ！

30点 →おめでとうございます！もししたらNCで表彰されるかも！

/30

★答えは14ページへ！

—先生の趣味を教えてください。

(後藤師) 表向きの趣味は読書と音楽。あえて趣味って聞かれたら、そうとしか答えられないんです。でも人から思われているほど本を読むほうでもない。薄っぺらの本でも一冊読むことはかなり大変なことだなあといつも思ってるくらいで(笑) 音楽はあらゆるジャンル好きですね。でも一応、講師紹介のここでは古いクラシックと古いゴスペルと古いジャズって答えています。ロックも、この人だけはってことで追っかけてる人が一人いるんですね。朴保(パク・ポー)っていう歌手なんですけど、みんな知らないでしょうねえ(笑) 在日コリアンの歌手で、メジャーには決して出ないので一般にはほとんど知られてないんですけど、彼ほど上手い歌手というのは、僕は知らないですね。

—どんなところに惹かれるのですか？

(後藤師) 長くなるよ？(笑) 僕は5年間、韓国人教会にいたことがあるんですね。その時から在日コリアンの人たちとの交わりというのは、僕にとってとても大切なもので、自分の心の中にそれまで無かったような糸がかけられたっていうか、いろんなことに心触れることが今も多いんですけど。朴保に会ったのはONE KOREAっていう、南北統一を願う在日コリアンのエンターテイメント中心の集会で、これを通して音楽的に知った人がいて、そのひとりが朴保。もっと有名なのは新井英一っていうでしょ？彼は朴保よりもメジャーですけども、ものすごい歌手ですよ。あとはオペラ歌手の田月仙(チョン・ウォルソン)、それから李政美(イ・チョンミ)。共通するのはね、なんていうかな、歌に「祈り」があるんです。クリスチャンじゃないんですよ。でもそれは在日の人たちが共通に持っている「祈り」がこめられています。ぜひどこかで新井英一の『清河(チョンハ)への道』を聴いて下さい。

在日コリアンの人たちにとって、象徴的な人間というのが二人いるんですね。ひとりにはソフトバンクの孫正義。それまで在日の人たちは通称名・芸名で商売をしていたんですね。教会では韓国名でお会いするような人たちも、日本社会で商売する時にはみんなそうだったんですよ。孫正義は読み方こそ日本読みをしているけれども、自分のルーツある名前でも商売やったわけでしょ？とても象徴的なことだと思う。で、もうひとりが新井英一。彼は自分のライフヒストリーを歌っているんです。『清河への道』は、自分が父親の故郷である清河村に行って、そこから若い時代の歩みを振り返るっていう48番の同じメロディの繰り返しなんですけど、彼はそれによって日本社会で自分自身のすべてを晒したわけですよ。釜山の清河村で48番を歌った時にも、彼はハングルを全部カタカナにして、それを読みながら挨拶しているんですね。いかにも韓国語を話せるような形で語んじてやることだって不可能じゃなかったと思う。でも彼は、全然自分はこれを話せないんだって話しながらやるんです。僕の話なんか聞くより、やはり新井英一の『清河への道』を聴いてみた方がいいと思う(笑)

講師紹介



ごとう としお

後藤 敏夫 師 (主題講演)

日本福音キリスト教会連合・キリスト教朝顔教会牧師。

1949年生まれ。高校生の時にイエス・キリストを信じる。聖書神学舎卒。麻溝台キリスト教会(相模原市)牧師、大韓イエス教東京福音教会協力牧師を経て、1993年、朝顔教会牧師となる。趣味は、古いクラシックと古いジャズと古いゴスペル。3人の男の子の父親。著書『終末を生きる神の民』、訳書『イエスの御名で』など。

一先生はどういう人ですか？“これだけはゆずれない”というこだわりは？

(後藤師) 難しい質問ですね。「これだけはゆずれない」なんていうこと言うと、本当にそうかなあと(笑) そうでもなく生きている面ってあるでしょ？みなさんはどうですか？そういうこだわりってあるんですか？

たとえば聖書の話をするにしても、クリスチャンになりたての頃、牧師になりたての頃は、コリント人への手紙13章をととても感動して真っ赤になるまで赤線引きました。「愛っていうのはこういうことだ」って。でもそれから何年かして、そろそろ30年くらいになり、神様の御言葉として愛について話しますが、人間的にはとても苦痛になりますね。そうでない現実を自分の中にたくさん抱えているし、実際に人との関わりの中で問われてきます。今回のテーマとも関係あるかもしれないけど、愛の反対は冷淡や無関心だという。たしかにその通りだなあと思うけれども、やっぱりそういうことを聞くのはつらい。自分はあまりにも冷たく、無関心でしか生きてないから。愛の反対が冷淡だとか無関心だなんて、人に説教はできないし、ただの知識としても言えない。一般論としては言えないですね。圧倒的に多くの人生に対して無関心で冷淡に生きてるわけだから。そうすると「今関わりのある、その人に対して」という形でしか言えない。だから「これだけはゆずれない人間なのですよ」なんていうのは、恥ずかしくてなかなか言えない。

どういう人間だと思いますかってのも、たとえば「優しい人ですね」って言われるとするでしょ？そうすると、かえって僕はその優しさということについて、どんなにでたらめな者かってことを感じるんですよ。どういう人間かって



いうとね、あまり適切な言葉で答えられない。もっとあっさり言ってしまう方がいいことなのけどもね、いつもこうやってぐだぐだとなにか言いたくなるような人間なんです(笑)

一今のクリスチャン学生に期待することはなんですか？

(後藤師) これもなんていうか、答えが結構ありそうな質問だとは思うんですよ。もっと熱心であって欲しいとか、もっと聖書読んで欲しいとか。でも一般的にクリスチャンの学生に対してって問われると、ちょっと困ってしまいますね。具体的な期待っていうのは、ひとりひとりとの関係の中でしか言えないんじゃないですかね。うちの教会に来ていてる〇〇君に何を期待するかって聞かれたら、「やっぱり礼拝を休まないで来て欲しいな」だとか。そういうのはいろいろあるじゃないですか。でも一般論としてクリスチャン学生って聞かれると、なかなか答えにくい。ただ、個人関係でしかこういうことは言えない、ということではないですよ。なにか具体的な場に立って、たとえばK GKのメンバーならK GKのメンバーがいて、その人たちがどこかの場にあったと。そしてそこに具体的なひとつの関わりがあると、そういう時に、彼らに期待することというのはあると思うんですよ。でも一般論としての質問としては答えにくい、ということです。

一今回のNCテーマをどのように思いますか？

(後藤師) 人と人との関わりってことですよね。あるいは国と国との関わり。つまり「関わる」ということがテーマですよ。だからこれは、自分自身にとって本当に大切なテーマだと思います。関わりの中に生きるってことが、やっぱり聖書の福音にとって一番大事なことでしょ？でも、僕自身がそのところにおいて一番傷ついているし、一番臆病なんです。いろんな意味で問題になるのは、愛せない人との間ですよ。愛ってことが問題になるのは愛せない人がいるからでしょ？おそらく「他人から隣人へ」というテーマは、みんな仲間になろうということとはちょっと違うことで、隣人になりにくいものいろいろあるところでの問題だと思うんですよ。福音の問題って。そういうことで、このテーマは自分にとって本当に大切なテーマだと思います。

一最後に一言お願いします。

(後藤師) そうですね、僕も実りのある全国集会となるよう祈っていききたいと思うので、僕のためにも祈って下さい。ということが一番の願いですね。僕も祈り、皆さんにも祈っていただいて。そこで神様が実りの時として下さるかどうかだけです。だからやっぱり祈って欲しいということですね。皆さんにお会いするのを本当に楽しみにしています。

講師紹介



まきた よしかず

牧田 吉和 師 (聖書講解)

日本キリスト改革派教会・神戸改革派神学校校長。

1944年生まれ。岐阜県出身。名古屋工業大学卒業。神戸改革派神学校卒業。改革派東仙台教会で牧師。ヴッパータール神学大学・ボン大学神学部にて研究。カンペン改革派神学大学院卒業。帰国後、改革派名古屋教会牧師を経て、1987年から神戸改革派神学校校長となる。趣味は、映画鑑賞、温泉、サッカー観戦など。著作等『改革派信仰とは何か』ほか。

一講師の依頼をされた時の心境を教えてください。

(牧田師) えーとですね、僕はKGGK自体には深い関係があってね。大学時代にKGGKやっていましたし、僕はまあ、東海北陸地区だったけれども、そこで夏期学校の準備委員長なんかもやりましたし、名工大(名古屋工業大学)のKGGKも作ったんですね、自分で。あと東北にいる時には東北大KGGKの聖書研究会なんかもずっと担当していましたし、そういう意味でKGGKとは関係が深くてね、KGGKから頼まれたらなかなか断れないなと(笑) それから、やっぱり今、教会に若い層が少なくなっていますからね、なにかお役に立つのであれば、喜んでさせて頂こうという思いはいつもありました。

一学生時代はどのような学生でしたか？

(牧田師) 学生時代は工学部でしたが、別に工学部行きたかったわけではなくて、本当は歴史研究したかったんだけど、父親が許さなかったものだから工学部行ったんですね。だからまあ、僕はヨット部だったんですが、学生生活は勉強するよりもほとんどヨットでした(笑) それでも大学3年生の春に洗礼を受けて、ヨット部は金土日と合宿をやっていたんで、礼拝守れないわけで、泣く泣くヨット部を辞めたのです。洗礼受けた時はそんなに深い回心なかったんですけどね、半年くらい経って本当に回心したというか、その時にいわゆる学校での伝道もはじめて、聖書研究会も作ったのですね。

一回心をしたきっかけはなんですか？

(牧田師) 中学2年の時に友達に誘われて初めて教会へ行ったんですね。当時僕は男子クラスだったから、女性と付き合う機会ってないんですね。教会行くと若い女の子っていっぱいいたわけですよ、当時は。そういう良からぬ思いで(笑) だけど実際に影響受けたのは、教会にいた貧しい芸術家の夫婦。信仰の内容よりもその方の生き方に強烈な印象を受けたというか、自分の知らなかったような真実な生き方をしている、それに非常に大きな影響を受けたと思いますね。その方が結局足掛け8年導いてくれたわけですよ。だからそろそろ洗礼受けないとあの人に悪いかどうか。義理ですね、僕の受洗は(笑) けど、そういう形で洗礼受けただけ、ヨット部で合宿していて日曜にヨット乗っていて、やっぱり心が痛むのね。それで本気になって聖書読んだんですね。で、自分の深い罪というのをものすごく考えさせられて、本当に悔い改めたんですね。自分の人生は本当に変わったと思います。自分の中に深い平安と喜びがあって、こんなにも人間を生かすのであれば自分はこのために生涯を捧げようと導かれて、だから僕の回心というのは、そのまま伝道者としての召命でした。

ー将来のビジョンはなんですか？

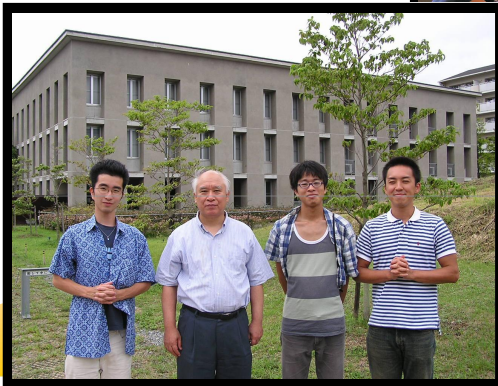
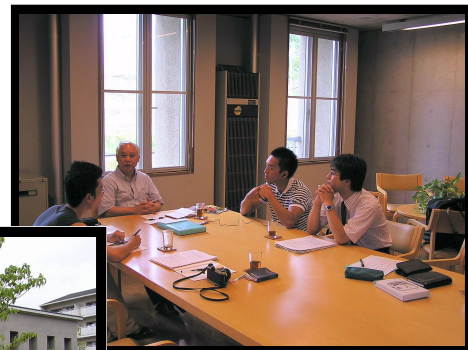
(牧田師) 地方伝道かな。僕はもともとの生まれが岐阜なんです。それでもって、育った教会は小さな十数名の集会所なんです。それから最初に行った任地は仙台ですから、町は大きいんですけど、教会はやっぱり6帖か8帖の畳みの上に机を置いて礼拝をしたんですね。それが僕の伝道者としての出発点です。ですから、やっぱりそういう地方の小さな教会ということについて、ずっと心の中にありますね。それらの地域の中に信仰が根づかない限りね、日本の教会の将来はないと僕は思うんですよ。だからそういう地方の教会で自分の伝道者としての最後の仕事をしたいという気持ちがありますね。地方は大きな教会はできなくても、「良い教会」は作る事ができるんですよ。で、「良い教会」を作ることができれば、非常に大きな影響を与えることができるんですよ。小さな教会でも「良い教会」なら人材を生み出すことができるんですよ。そういう教会を僕は作りたいと思うし、それから神学もやっぱりもう少し日本の教会の現場に根を下ろす必要があると思うんです。だから今はこうして神学校で教えているけども、もう一度現場に神学の問題を戻してね、そこからもう一度再生したいというかね、そういう将来の希望がありますね。

ー今回のNCテーマをどのように思いますか？

(牧田師) 皆さんがテーマをどういうレベルで理解しているのかに関心あるね。非常にパーソナルなところに留まっているのか、あるいはもっと広い視野を持っているのか。もちろん今日のストレスの多い、あるいは非常にエゴイスティックな状況の中で、隣人に対する愛とかね、泣く者と一緒に泣きなさいとかね、それはよくわかるんだけど、その広がりがどういうレベルなのかということですね。社会的なレベルまで広げているのか、世界的なレベルの視野を持っているのか。僕の関心はそこにありますね。確かに信仰の垂直的深さ、あるいは内面性とかね、非常にパーソナルな関係の中の隣人への関わりっていうのは決定的に重要なことだけれども、その枠には留まって欲しくないという気持ちですかね。つまり、世界へ出て行って欲しいってことなんですね。あるいは今日の歴史の持つる諸問題に、こういう角度から切り込んでね、自分の生涯を捧げる人が出て欲しいということですよ。そういう生き方がないと、今の若い人たちに対してキリスト教信仰の本質的なアピールはできないと思いますよ。

ー今のクリスチャン学生に期待することはなんですか？

えーとね、結局生き方自体が私事化しているわけね。隣人との関わりということも、そういうことと関係あるのだと思うけれども。そういう意味で、個人的なレベルでの深い交わりや関わり方っていうのは当然求められるし、キリスト教信仰というのはその部分について重要な意味を持っていることは確かだと思うけども。全体的に福音派の学生たちもやっぱりそういう自分の信仰というか、せいぜいの教会の中というかな、そういう信仰で考えやすいと思うんですよ。だから献身するということも福音伝道ということを当然考えるわけで、それはそれですごく重要なことだけど、他にもね、すべきことは山ほどあると僕は思うんですよ。我々キリスト者として、果たさなければならない隣人に対する仕事っていうのは山ほどあるわけで、そういう世界に今の若いクリスチャンたちが生涯をかけて飛び出して欲しいという強い願いがありますね。そういう風に神様あるいは誰かに捧げていくと、自分の中に眠っている賜物やエネルギーがものすごい力を発揮し始めるんですよ。結局、どうしても自分がそれをしなければならぬという使命感が、その人の持つるいろんな能力を開発して鍛え上げると僕は思うのね。そういう意味で自分自身の生涯を捧げるような仕事を、しかも自分のためではなく、それこそ他の人たちのために生涯を捧げるような生き方をして欲しいと思うのね。だから、そういう発端の起爆剤というか、皆さんに火をつける働きができればいいと思います。



NCキャラクター

皆さん、ご応募ありがとうございました。
慎重に選考いたしました結果、以下のキャラクターになりました。応募してくださった皆さんありがとうございました。これからも共にNCをつくり上げていきましょう！

温冷蔵庫型ペンギン

ノッティ



飲み物を温めたり冷やしたりが切り替え自在な冷蔵庫が「温冷蔵庫」。人の持つ、潜在的な心の冷たさ、温かさを表現しました。冷たい時は胸のマークが「C」で羽毛は水色でしたが、心が温かくなって胸のマークが「H」になり、羽毛はピンク色になりました。切り替えは、尻尾のレバーをターン。温度の切り替えで髪型も変化、冷たい時はツツツ、温かいとモサモサになります。しかし自分では「C」を「H」にターンすることは出来ません（手が届かない）。まるで人間のようなですね。彼（彼女？）が生き物なのか、ロボットなのかは不明。言葉は喋れないので無口ですが、表情で感情を豊かに表現します。

たまご型ペンギン

ウォーミィ



たまご型ペンギンは、初めは「氷のたまご」の中に閉じ込められていて、温めることによって初めて孵化します。「温められて成長する」、これはたまごにも人間にも言える性質です。孵化して生まれたヒヨコは、寒がりのため暖かい場所を好みます。殻をかぶっているのは防寒のため。彼（彼女？）はとってもおしゃべり屋。無口な相方の分までよく喋ります。

キャンセルについて

すでに申し込みをされた方でキャンセルをする場合は、キャンセル料が発生します。

キャンセル料金

キャンセルする場合に発生するキャンセル料は以下のとおりです。

- ・ 2/19まで…申し込み金¥7,000
 - ・ 2/20～28まで…参加費¥37,000の30%
 - ・ 3/1～5まで…参加費¥37,000の50%
 - ・ 3/6以降…参加費¥37,000全額
- （いずれも振込み手数料は参加者負担）

キャンセル方法

キャンセルする場合は、NC専用電話(090-6001-9342)までお電話ください。どうしても繋がらない場合のみメールで受け付けますが、その場合準備委員会から返信があった時点でのキャンセルとなります。御了承ください。

★P8全国KGKクイズ解答

- | | | |
|-------------------------|--------------------------------|--|
| 1. 釧路 | 10. ②となりびと | 20. ①スカイライン |
| 2. 冬休み | 11. ①1976年（学生の伝道より） | 21. 感謝しま〜す。 |
| 3. 優勝カップのリボンに名前を書ける | 12. ②8人（主事宅の議事録より） | 22. サザン |
| 4. 新潟県 | 13. ①大須祈祷会 | 23. 佐賀・下関 |
| 5. 芋煮大会 | 14. ①ミラクル | 24. 福岡県 |
| 6. 「明日、あなたを聖研に連れて行くから！」 | 15. ②クワガタ | 25. ③3 |
| 7. ②御茶ノ水クリスチャンセンター | 16. 4人（中野貴博兄、味村美佳姉、老松望兄、中島香織姉） | 26. 台風 |
| 8. ②14ブロック | 17. ②自己証会（テーマ聖句は第一ペテロ3：15） | 27. 山入端（やまには）、安谷屋（あだにや）、玉那覇（たまなは）、真栄喜（まえき）、嘉数（かかず） |
| 9. ①第一会議室の十字架の付近 | 18. 梅ジム（梅田にある事務所） | ボーナス問題。 |
| | 19. 9県 | 北海道、東北、関東、東海 |

準備状況と祈禱課題

NCまであと半年となりました。8月に準備委員（12人うち主事2人）が集まる貴重な会議（4泊5日）がありました。主にプログラムの詳細を委員で叩き、プログラムの中身がだんだん出来てきたことで準備委員もよりNCが近くなってきたなと思われています。会場の下見にも行き、実際に講堂に椅子などを並べたりしてきました。夏会議中、おいしい食事を作ってくれた東海地区のメンバー、本当にありがとう！委員の数名は太りました（実話）。
（NC準備委員会）

- ①全国からさらなる参加者が与えられるように。
- ②NCのプログラムの各準備が整えられるように。
- ③NC準備委員の健康と信仰、学業が守られるように。
- ④海外ゲストとのコンタクトを十分とってゆけるように。
- ⑤ホスト地区にそれぞれ任されている奉仕が守られるように。
- ⑥講師の先生方の準備が、肉体的にも霊的にも守られるように。
- ⑦NC担当主事の成実主事と吉澤主事の体調が守られ、働きが用いられるように。
- ⑧全国協議委員（全協）のNC準備におけるたくさんの働きのひとつひとつが守られ、ご奉仕してくれている全協一人一人の学びと健康が守られるように。

あいすぶれいくって？

みなさんご存知の通り、06NCのテーマはNotlceですよね。これに掛けまして、本広報誌のタイトルを『あいすぶれいく』と名付けました。あいすぶれいく（IceBreak）の意味は“氷を壊す”“打ち解ける”という意味です。NCってなに？どんなことをするの？どんな意味があるの？などみなさんが疑問に思っていることにお答えしていくとともに、普段あまり知ることのできない各地区のことをお伝えることによってNCについての理解を深め、NCとみなさん、そして各地区同士のへだたりをなくしていく。そんな広報誌になればという願いを込めて付けました。

NC前のちょっとした、あいすぶれいく。みなさんの心が打ち解ける読み物になればと思います☆

・申し込みメチまであとわずか！！
急いで忙いでLet's Notice！（高木真悟）

・・・

・全国KKGクイズむずかしかったです。
わたしはブレイクしました☆☆（原田純子）

編集委員のつぶやき

・CD-RWからUSBに替えようと思う今日この頃。
NCでみなさんと会えるのを楽しみにしてるみい。（片山ゆずり）

・残り半年となった学生生活を精一杯楽しみたい。
最近時間管理がうまくできず体調を崩し気味・・・（吉村安彦）

・今回はほとんど（編集・発行作業を）
何もしなかった(´_`)（水口恵子）

みい。

あいすぶれいく vol.2
2005年10月発行
キリスト者学生会

広報誌編集委員
原田 純子 高木 真悟
吉村 安彦 片山 ゆずり
水口 恵子（NC広報担当）

チャージ できます

「心とばエネルギー足りていますか？」

「地の塩、世の光」になっていますか？

NC2006

申込締切迫る!!

テーマ：Notice ～他人から隣人へ～
喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。
ローマ12章15節

日時：2006年3月6日(月)～10日(金)
会場：愛知県立旭高原少年自然の家
講師：牧田吉和師（神戸改革系神学校校長）
後藤敏夫師（JECAキリスト教朝顔教会牧師）
対象：クリスチャン学生
定員：420名
参加費：37,000円
申込：2005年11月11日〆切
連絡先：nc2006@kgk-japan.net 090-6001-9342

<http://church.ne.jp/nc2006/>



Notice